

魅力ある 北信州の玄関口へ 新幹線駅開業にむけて

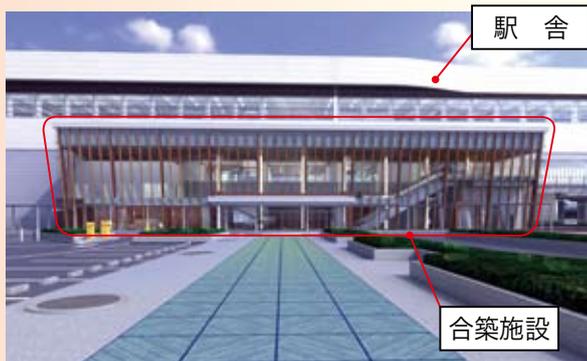
第12回

環境に配慮した都市施設で
駅利用者をおもてなし

新幹線飯山駅 都市施設整備事業

飯山市では駅利用者の利便性を高めるため、駅機能の更なる充実を目的とし、新幹線駅舎に合築する形で平成24・25年度に都市施設を整備します。

この施設は窓の面積を大きくとり、太陽の光を採り入れることにより、照明の代替となるとともに、豊かな自然景観を展望できる形の設計となっています。また照明設備についても環境に配慮し全てLEDを使用し、木材についても県産材を使用する予定です。



【事業概要】

- 建築面積 660㎡
- 構造 鉄骨造
- 施設規模 地上2階 高さ14m
- 機能 観光情報案内所、交流ホール、昇降施設、トイレ等



内部イメージ
(2階フロア)

開放的な窓を配置し、駅前の景観を展望できる憩いのスペースを整備。

内部イメージ
(1階フロア)
交流スペースや観光情報案内所を設け、広域観光の情報発信拠点の機能を整備。



このコーナーへのご意見をお寄せください。
新幹線駅周辺整備課 新幹線駅周辺整備係
☎ 62-3111 内線 245・246



わが家の人気者

柳原地区
3歳4か月
No.320

青木 倫乃ちゃん
倅乃ちゃん

△左が姉の倫乃ちゃん

△右は弟の胤人(つぐひ)くん

「わが家の人気者」に登場していただける2、3歳くらいのお子さんとお母さんを募集いたします。お問い合わせは市役所庶務課秘書広報係までご連絡を！(☎3-111 内線337)

お肉と白玉が好きで、洗濯物をたたんだり、白玉を作るお手伝いをしてくれそうです。ダンスをしたり、「ガンバレ日本」と言いながらサッカーをします。二卵性双生児で血液型や性格も違いますが、二人とも将来の夢はお父さんと結婚することです。

来年から保育園に行くことを今から楽しみにしている二人です。

(仲貴さん、涼子さんの長女・次女)

美術館 情報

【飯山市美術館開館15周年記念展】開催中(11月4日まで)

北信濃逍遥の画家たち

～生きること 描くこと～



△松澤芳宏「豪雪一過」(1986年) △駒村久彌「辛夷の咲く山」(2007年)



△田中渉「連結器」(2008年) △吉越隆師「憩う」(2005年)

市内7人の洋画・日本画家(岩上隆静・岡田千春・川口昇・駒村久彌・田中渉・松澤芳宏・吉越隆師)による展覧会。北信濃への限らない愛惜の念を感じさせる作品を中心に約70点を展示紹介。

【入館料】 大人300円、市内の小中学生は入館無料
【開館時間】 9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】 毎週月曜日(月曜日が祝祭日の場合は翌火曜日休館)
【お問い合わせ】 飯山市美術館 ☎62-1501

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、それまで続いていた真夏のような日々が、秋分の日を境にすっかり秋めいてきました。そんな10月7日、秋の爽やかな空気を熱くする飯山市駅伝大会が開催されました。大会開催にあたっては、各地区公民館などを中心に大会に向けた練習が長期間行われ、当日は飯山警察署をはじめ安協の皆さん、各地区区長会など、多くの皆さんのご協力により実施することができ、沿道からの応援も大会を盛り上げました。▼地区対抗ということもあり、現在これほど多くの市民が参加し、運営にかかわるイベントは市内では他に類がなく、市の代表的なイベントとしてこれからも大切にされていくと思います。▼余談ですが、駅伝大会は体育の日前日に開催することとなっているため、入稿日の関係から次回市報に駅伝の話が掲載されるのは、2018年のこととなります。鈴木